

平成29年度 行政評価の取組結果(技術監理局)

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)				H29年度		H28年度		人件費(目安)		H29年度				H31年度予算要求に向けた施策の方向性				
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題			
I-2-(3)-② 技術・技能を継承する人材の育成	1	明日の公共事業を支える人材確保・育成事業	技術企画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度(イベント参加者アンケートによる)	97%(H27年度)	目標 70%	実績 87%	75%以上(毎年)	2,154	1,924	2,520	5,400	課長 0.10人	順調	イベント参加者の89%の方に建設業について興味を持っていただくことができ、事業は「順調」と判断。	順調	【評価理由】 建設業に対する関心度は目標を上回り、建設業の人材確保・育成に貢献できたため、「順調」と判断。  【課題】 将来にわたる建設業の人材確保・育成は、短期的な活動で達成できるものではないため、継続して、イベントなどを通じた建設業の魅力を伝える地道な広報活動が必要である。	建設業の魅力アップに向け、引き続き、建設業に関するイベントを通じて建設業の魅力を伝える地道な広報活動が必要であり、平成31年度も継続して実施。				
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の地域活動への参画促進	2	【施策評価のみ】競争入札参加資格者に対する加点制度	契約制度課	【施策の内容】 本市の物品等供給契約や建設工事における競争入札参加資格において、地元企業の地域での社会貢献活動(子育て支援、男女共同参画、障害者雇用、環境配慮、防災活動など)を評価し、格付けの際に加点することにより、契約制度の面からも本市重要施策の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供給契約入札参加資格者総数に対する評価対象事業者数の割合	27%(H28年度)	目標 前年度(23%)並み	実績 27%	28%(H32年度)	-	-	-	-	課長 1人	順調	-	-	【評価理由】 目標値または目標値を上回る数字であるため、「順調」と判断。	引き続き加点制度を実施する。				
V-3-(1)-① 都市基盤・施設の適正な整備	3	公共工事安全対策強化事業	検査課	市が実施する公共工事の安全対策強化のため、安全指導を専門とする公共工事パトロール隊を設置し、事故の抑制を図る。	市発注工事における事故件数	24件(H26年度)	目標 14件以下	実績 25件	14件(H30年度)	1,171	870	839	26,150	課長 0.10人	やや遅れ	安全パトロールの実施件数を平成28年度の673件から平成29年度819件と大幅に増やし、墜落防止措置等の指導・指摘を積極的に行った。さらに、監督員等より「とても意義があった」と、高評価を受けている。出前講演や研修等を実施し、安全意識の向上が図れたが、市発注工事における事故が、目標よりも多く発生したため、「やや遅れ」と判断。	やや遅れ	【評価理由】 市発注工事における事故が、目標よりも多く発生したため、「やや遅れ」と判断。  【課題】 建設工事従事者の「確認不足」や「不注意」、「作業手順の省略」などが事故の主な発生原因であり、工事に従事する一人一人の安全意識の向上が課題である。	公共工事における重大な労働災害や公衆災害の発生を抑制し、市民及び建設工事従事者の安全と健康を確保するため、平成31年度も継続して実施する。				
VI-3-(3)-② 建設リサイクルの推進	4	【施策評価のみ】建設リサイクルの推進	技術企画課	【施策の内容】 北九州市発注の公共工事を対象に、建設副産物の発生抑制や建設廃棄物の再資源化の徹底、再資源化された建設リサイクル資材の利用促進に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資源化率	99.9%(H28年度)	目標 98.0%	実績 99.9%	98.0%(H30年度)	-	-	-	-	課長 1人	順調	-	-	【評価理由】 前年度に引き続き目標を達成しており「順調」と判断。  【課題】 平成33年度目標値設定を今年度決定するにあたり、関係機関との調整が必要。	引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。				